



北島選手が一日警察署長に就任！

6月15日、小郡市ふるさとスポーツ大使でアビスパ福岡所属の北島祐二選手が、イオン小郡で小郡警察署の一日署長を務めました。

啓発イベントでは、福岡県警察音楽隊による「安全・安心コンサート」とともに、北島選手が飲酒運転撲滅を呼びかけ。その後、店内で詐欺被害防止などを訴えるチラシを配布して啓発を行いました。

一日署長を務めた北島選手は、「なかなかない経験を地元の小郡でできて嬉しい。詐欺被害や飲酒運転がなくなると聞いているので、この活動が少しでも役に立てたらと思い活動できた」と振り返りました。



地域を巡って魅力を再発見！

5月16日、小郡小学校区に残る祠(ほくら)などを巡る史跡めぐり「へんろ道～小郡の四国霊場～」ハイキングが開催されました。当日は市内外から18人が参加し、史跡案内ボランティア「友の会」のガイドを聞きながら、西鉄端間駅から西鉄小郡駅までの約3.7キロメートルのコースを歩きました。

参加者からは、「車でよく通る道なのに気付かなかった」「写し霊場(四国の遍路を模して各地につくられたもの)が地元にもあるなんて知らなかった」などの声が聞かれ、新たな発見に目を輝かせていました。



大学生と考える観光まちづくり

小郡市と福岡女学院大学との包括連携協定の一環として行われている「観光まちづくり」では、観光をきっかけとしたまちづくりについて学び、実践に取り組んでいます。

6月20日、学生たちが小郡市を訪れ、松崎宿、旧松崎旅籠油屋、甘木鉄道松崎駅、平田屋住宅を見学しました。史跡案内ボランティアや、油屋を管理しているIKKスタッフなどから話を聞き、文化遺産を生かしたまちづくりへの姿勢や思いに触れました。

学生たちは「自分だったらどうするだろう」「こうしたらもっと盛り上がるのでは」と想像を膨らませていました。



大原中×給食センターによる地域貢献

6月6日、大原中学校が実施する「ラブアーススクリーン・アップ大原」に、建設が進められている学校給食センターの建設事業者が参加しました。この活動は、中学生が主体となり、地域の清掃を通じて環境保全への意識を高めるとともに、地域への愛着を深めることを目的としています。事業者からは、大保区と大板井2区の清掃活動に計12人が参加し、中学生と一緒にごみ拾いや草刈りを行いました。

参加したハーベストネクスト株式会社の上野さんからは、「地域の皆さんや大原中学校の生徒の皆さんと協力することで、地域とのつながりの大切さを改めて実感しました」との声が寄せられました。

